

# 東雲

SHINONOME

2025.3 vol.99  
新潟市立下山中学校PTA本部

広報誌のタイトルになっている東雲(しのめ)とは、太陽が昇り始める前に、茜色にそまる空を意味する日本の古語。自分の寿命を85歳と仮定して、その年数を1日24時間に置き換えて計算してみると、15歳は、朝の4時12分。つまり「東雲」は、中学生がいま生きている時間の風景です。



## ごあいさつ

### 「愛」が循環する場所へ

今年度も、PTA活動にご協力いただき、どうもありがとうございました。早いもので、もう卒業と進級の季節になりました。お子様たちの様子は、いかがでしたか？

PTAも参加しているコミュニティスクール(CS)会議が始まって、3年がたちました。こちらでは、「学校」「保護者」「地域」が一体となって子どもたちのより良い環境づくりについて多様な意見を出し合いながら運営されています。ひと昔前のPTAは、強制的にやられる、雑用系のイメージがあったかもしれませんが、ここ数年で改善が進み、有意義な意見交換ができる場となっています。

私は、子どもたちには失敗を恐れず何事にもチャレンジし、辛い時こそ、大きな壁を乗り越えるチャンスととらえて、前に進む力をつけて欲しいと願ってきました。そして、その力をつけるには大人たちのサポートが必要であることも実感してきました。

親や教員だけで育てるのではなく、他の保護者や地域の皆様による支えや励ましは、安心感につながります。たくさんの人たちの「愛」を届けることこそが、子どもたちのより良い未来を築くと信じています。ぜひ今後とも、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。



PTA会長  
山田 京





# 2024年度は、PTA改革元年でした

少しでも活躍しやすくなるよう、数々の意見をふまえてこのように改革させていただきました。

## 今まで

今までは、業務を分担していたことが逆に分断を招き引き継ぎが年々曖昧となってしまうPTA本来の趣旨が忘れられてしまっていました



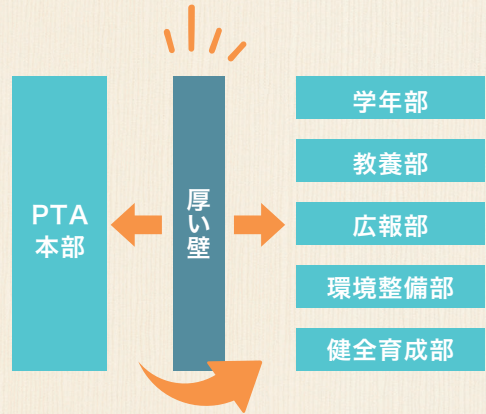
部長のくじを引いたけど何をすれば良いの?



転勤してきたばかりで、何もわからないのに



前任者もわかってなかったから引き継ぎにならない



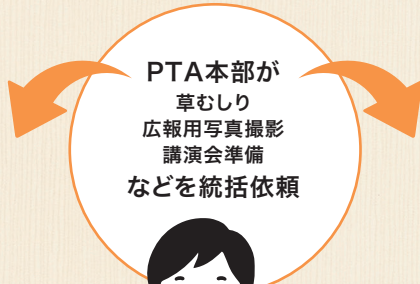
誰も内容管理できず

## これから

司令塔を、PTAを良く知る本部に統一することで業務を簡潔に！無理のない活動をしていくことを第一の目的にして、システムを変えました



できる人が



できる時に



できる事を



風通し良く！

マニュアルも一括管理





# 2024年度活動報告

この他にも、各種イベント見守り活動などありました。  
こちらで、一部ご報告させていただきます。

**4月5日  
PTA  
入会式**

皆様のおかげで、スムーズに  
進行することができました。  
ご協力ありがとうございました！



**2月7日  
蔵書  
点検**



13000冊もの蔵書を年に一度  
点検しています。ボランティアさんの  
協力が本当にありがたいです！



**12月12日  
交流会**




今年初の試みとなった、  
日本人大学生11名&外国人留学生4名と  
中学生との交流会！  
中国やロシア、インドなど異国の文化を  
タブレットやPCを活用しながら学び  
大学生活の様子も直接聞くことができました。  
中学生の今、何を目標にどうするべきか  
考えるきっかけにもなり、  
視野も広がったのではないのでしょうか！

**11月21日  
小中合同  
会議**

年4回開催されているCS会議。  
この日は、小中合同で地域の医師、薬剤師の  
方々にもご参加いただき、子どもたちの  
健康問題について話し合いました。




**2月15日  
表彰式**



下山中学校広報誌「東雲」が、  
「令和6年度新潟市小中学校  
PTA広報誌コンクール」で  
最優秀賞を受賞しました！

**学校ボランティアも、通年で募集しています**  
◆行事サポート ◆備品修繕 ◆文書印刷 ◆学習サポート(見守り・理科教材片付け等)

**皆様のお力をお貸しください**



# 来年度にむけて

今年度は、こちらのメンバーで運営させていただきました。  
どうもありがとうございました！



新たな取組  
校長 牧野 淡紅恵

皆様の教育活動へのご協力に感謝いたします。来年度からグループ担任制を1、2年生で実施します。子どもたちを複数の目できめ細かく見取り、より質の高い支援を目指します。3年生については、2年間固定担任だったことを踏まえ、従来の学級担任制とします。また、部活動の地域展開に向けた準備も進めていきます。子どもたちの健やかな成長のために、ご理解ご支援をお願いいたします。



試行錯誤のPTA活動  
教頭 前田 敏之

コロナ禍を経て、PTA活動を見直すが進みました。今年は、各部会を見直し、学級代表と学年代表以外は、PTA三役とボランティアで活動することになりました。この広報誌もPTA三役の方中心に作成させていただきました。また、蔵書点検や式典用のカバー作成など、ボランティアでの活動も行われました。来年度は、子どもと共にできる活動をPTAとして考えることに力を入れようと思います。よろしくお祈いします。



お世話になりました  
PTA副会長 千葉 郁

PTAの役員を3年間務めさせていただいたなかで、学校側の考えや様々な取り組み、地域の方々のあたたかいご協力など、沢山の事を学ばせてもらった大変貴重な時間となりました。

これからPTAを担う方々にも、子どもたちの成長のために出来る事を考えながら、見守っていく活動を続けて欲しいと願っています。きっと良い時間になります。

皆様、本当にありがとうございました。



皆様の見守りに感謝  
PTA副会長 永井 清美

- ①子どもたちの自分らしさ探しを、そっと応援すること。
- ②もし失敗しても「見守っているよ」と大人の姿をどこかで感じさせること。

PTAとして私が子どもたちに出来るのはこの2つぐらいでした。力不足だったかもしれません。ですが、下山中学校の先生方、地域の方々には子どもたちにたくさん寄り添っていただきました。

この場を借りて感謝を申し上げます。



一年間  
ありがとうございました  
PTA副会長 阿部 恵

先生方、保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力のおかげで1年間楽しく活動させていただきました。今では学校と先生方をとても身近に感じています。時代の変化と共にPTAのあり方も多様に変化しています。それぞれの立場で意見を出し合い、尊重し合いながら次年度の活動も無理なく行っていただきたいと思っています。



気心が知れるということ  
PTA相談役 金子 敦子

PTA最大のメリットは、学校の先生方と「気心が知れる」ことだと思います。欠点を許しあい、短所を補い合う関係、という土台をつくった上で話し合い、意見を出し合う。これは、きちんと耕された土が水を吸い込むかのように議題も浸透していきます。こんな土壌が学校全体に広がることを目指して、来年度にバトンをつなぎたいと思います。